



奨学金：大成建設外国人留学生奨学金
大 学：長岡技術科学大学
名 前：NGUYEN HO QUANG
国 籍：ベトナム

大成建設から奨学金をいただいてそろそろ半年になりますが奨学金を採用していただいた瞬間の感謝の気持ちが時間が経っても変わらず、いつも湧いています。

大成建設奨学金をいただいてから私の生活や勉強など変わるところがたくさんありました。特にアルバイトの時間を削って勉強の時間、交流の時間を増やすことができました。私は大学2年生から新潟県交流委員として務めて、なにか文化交流活動あるいはイベントがあれば県から情報をもらって活動のために準備したり参加したりしていましたが、ほとんど週末でしたので、アルバイトで参加できない活動もありました。しかし、奨学金をいただいているおかげで、前ほどアルバイトのことを考えていません。様々なイベント、活動に参加し、多くの日本人、外国人と交流することができ、とても有意義な大学生活を送っていると感じます。

長岡技術科学大学では、ベトナム人留学生が100人くらい在学していますが、日本語があまり上手ではありません。勉強や研究に支障がなさそうですが、生活面では多少困っている方がいるそうです。私は、知人からこのような話を聞いて、少しでも教えてくれないかと頼まれ、何かできないのかと悩んでいました。日本語の授業を行いたいのですが、相手も忙しいので、平日はなかなかできない状況でした。やれば週末しかない、けど週末はバイトがある、バイトを削ってやると生活できなくなるというのは私の状況でした。この話をバイト先の店長にしたら、朝6時から来てくれれば早くあがってもいいよと言ってくださいました。そこで、去年の7月から毎週土曜日の2時間だけですが日本語の授業を行っていました。困っていることなど様々な出来事をお互いに話し

合い、アドバイスをあげたり、もらったりしています。大成建設奨学金をいただいてからは、週2回やることに決めました。母国から離れ、留学して心細くなるがありますが、このようなことができてもホームシックや寂しさが和らぎます。勉強会だけではなく、県のイベント、大学のイベントなどみんなと積極的に参加しています。

勉強面では、去年まで鋼構造・鋼橋梁研究室に興味がありましたが、奨学金の面接をしたとき、大成建設の人事部長さんが橋梁について勉強したければコンクリートを勉強した方がいいとおっしゃってくれました。そもそもコンクリートに興味がないわけではありませんが、研究したいほどの気持ちはありませんでした。しかし、色々調べてみるとやはりコンクリートも面白い、コンクリート分野でも鋼構造があると気付いて、コンクリート研究室を選ぶことにしました。まだ研究に入っていませんが、今後の研究や就職のために研究したい分野以外にも様々な科目を履修しています。

大成建設のインターンシップに行ったときは、台風の影響でほぼ毎日大雨で雷もあり、工事が中止になることもありました。コンクリートを打設するのを見たかったのですが、残念ながら天気が悪く、次週になりました。しかし、多くの方々にお世話になり、勉強になったことがたくさんありました。大成建設の方々だけではなく、協力会社の方々にもたくさん教えていただきました。インターン期間中にちょうど若手のための勉強会があり、胎内ダム工事、柏崎原子力発電所工事なども紹介され、建設工法、工事困難に対する知識も増えました。とても有意義なインターンだと思います。

インターンシップに参加させていただき、ありがとうございました。たった一週間だけでしたが、様々な勉強になったことがたくさんありました。大学で習うことは大事ですが、現場に行って目で観察して手で確認するのも必要だと思います。今回のインターンは今後の研究、就職にもとても役に立つと思います。また、大成建設から奨学金をいただいていることを忘れず、熱心に勉強し、人々に貢献できるよう、良い建設技術者になりたいと常に考えています。